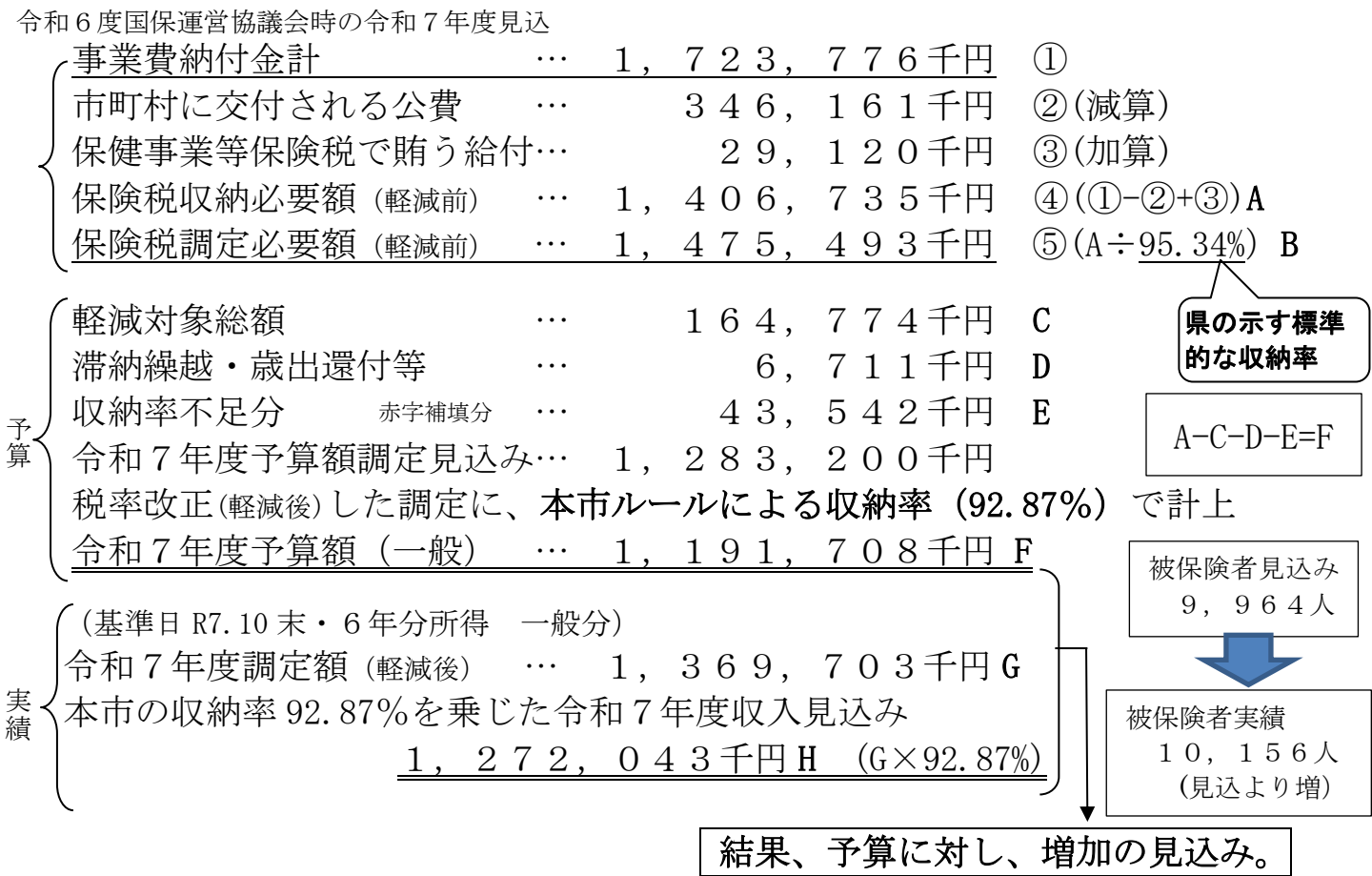


令和8年度 確定係数における事業費納付金と標準保険税率について

1 令和7年度 保険税率での予算額と調定額について（検証）

● 事業費納付金と保険税収納必要額（清須市）



● 税率比較

	所得割	均等割	平等割
	応能割 (%)	応益割 (円)	
令和6年度	1 1 . 8 0	5 1, 5 0 0	3 3, 4 0 0
標準保険税率 (R7)	1 2 . 3 8	5 4, 8 5 9	3 3, 7 2 3
令和7年度	1 2 . 3 8	5 4, 8 5 9	3 3, 7 2 3

2 県の示した事業費納付金等について（子ども・子育て支援納付金分除く）

(1) 令和8年1月20日、確定係数による国民健康保険事業費納付金等の試算結果及び標準保険税率

●事業費納付金と保険税収納必要額（清須市）

①事業費納付金	…	1, 747, 824 千円	(基本)
		対前年度比	【+24,048 千円】
②市町村に交付される公費	…	325, 095 千円	(減算)
			【△21,066 千円】
③保健事業等保険税で賄う給付…		29, 360 千円	(加算)
			【+240 千円】
④保険税収納必要額(軽減前)	…	1, 452, 089 千円	a
			【+45,354 千円】
⑤保険税調定必要額(軽減前)	…	1, 524, 183 千円	(a ÷ 95.27%) b
			【+48,690 千円】 【▲0.07%】

県の示す標準的な収納率

仮係数時と比べ増加した要因

・診療報酬改定による影響：診療報酬+3.09%、薬価▲0.86%、材料価格▲0.01% ⇒ +2.22%

⑥軽減対象総額	…	101, 433 千円	c
			【△63,341 千円】
⑦令和8年度予算調定見込み	…	1, 350, 656 千円	a-c=d
			【+67,456 千円】
⑧令和8年度予算額	…	1, 251, 653 千円	d × 92.67%
			【+59,945 千円】

●標準保険税率

確定係数による試算	所得割(%)	均等割(円)	平等割(円)
令和7年度税率	12.38	54, 859	33, 723
標準保険税率(R8) 令和8年度 税率見込 (子ども・子育て支援分除く)	13.14 【+0.76】	57, 861 【+3,002】	35, 365 【+1,642】
医療給付費分	7.93	33, 857	21, 734
後期高齢者支援金等分	2.80	11, 887	7, 631
介護納付金分	2.41	12, 117	6, 000

《令和6年中の所得で試算したもの》

(2) 1人当たり保険税額（軽減前）の比較（令和8年1月9日現在での試算）

令和7年度現行税率で算出した保険税額

1, 515, 482 千円 ÷ 被保険者(9,791 人) = 154, 783 円

令和8年度標準保険税率で算出した保険税額

1, 584, 856 千円 ÷ 被保険者(9,670 人) = 163, 894 円

+9, 111 円

(3) 1人当たり保険税額（軽減後）の比較（令和8年1月9日現在での試算）

令和7年度現行税率で算出した保険税額

1, 325, 152 千円 ÷ 9, 791 人 = 135, 344 円

令和8年度標準税率で算出した保険税額

1, 385, 082千円 ÷ 9, 670人 = 143, 235円

(年+7,891円増・月+658円・+5.83%)

収納率見込み【本市ルールによる収納率(92.67%)】

1, 283, 555千円

(4) 被保険者の状況

令和8年1月9日 9, 791人、6, 760世帯

令和8年度見込 9, 670人、6, 366世帯

【△121人、△394世帯】

上記減少に伴い、予算見込みで、△16, 016千円となる。

(※R6年中収入を元にR8税率で賦課し、人数減少分として)

3 医療指数と1人当たり所得金額

(1) 医療指数

医療費の水準(年齢調整後)は、全国的には平均を下回るが、県内では高い

	医療費指数(全国平均:1)		
	令和6年度	令和7年度	伸び率
愛知県平均	0.922599573	0.911452039	▲1.21%
清須市	0.964358390	0.977961359	1.41%
順位(54市町村)	3/54	3/54	依然と高い水準にある

(2) 1人当たり所得金額

1人当たり所得金額は、県平均を上回っている。(微減したが順位は変わらず)

	一人当たり所得金額(基礎控除後)(単位:円)		
	令和6年度	令和7年度	増加額
愛知県平均	723, 233	733, 788	10, 555
清須市	743, 590	741, 404	▲2, 186
順位(54市町村)	23/54	23/54	所得水準は微減している

4 収納率不足等に伴う事業費納付金不足額

医療分・後期分・介護分の収納率による不足額

1, 350, 656千円 × 標準収納率95.27% = 1, 286, 770千円

R8当初予算92.67% = 1, 251, 653千円

収納率準不足市

理論値 不足額35, 117千円 α

5 子ども・子育て支援金について

(1) 子ども・子育て支援金とは

「子ども・子育て支援法等の一部を改正する法律(令和6年法律第47号)」に基づき、令和8年4月1日に子ども・子育て支援金制度が創設される。

本制度では、国は医療保険者から子ども・子育て支援納付金を徴収し、医療保険者はその納付に要する費用として、被保険者から保険料（税）と合せて子ども・子育て支援金を徴収することが決定している。

(2) 子ども・子育て支援金に係る令和8年度の事業費納付金と標準保険税率

●事業費納付金と保険税収納必要額（清須市）

①事業費納付金 … 38,023千円（基本）

②市町村に交付される公費 … 2,542千円（減算）

③保険税収納必要額(軽減前) … 35,481千円 a

県の示す標準的な収納率

④保険税調定必要額(軽減前) … 37,243千円 (a ÷ 95.27%) b

●標準保険税率

確定係数による試算	所得割(%)	均等割(円)	平等割(円)
標準保険税率(R8)		1,214	
令和8年度 税率見込	0.29	78	785

※均等割下段は、18歳以上均等割として上段に加算

(3) 1人当たり保険税額（軽減前）

令和8年度標準保険税率

37,243千円 ÷ 被保険者(9,670人) = 3,851円（月額320.9円）
 (154,783円 + 3,851円) ÷ 154,783円 = 1.0248・・・(+2.48%)

仮係数時と比べ増加した要因は、県の減少率よりも全国の減少率の方が大きかったため、愛知県の負担が増加した。

6 収納率不足等に伴う事業費納付金不足額

子ども・子育て支援金分の収納率による不足額

37,243千円 × 標準収納率 95.27% = 35,481千円

R8当初予算 92.67% = 34,513千円

収納率準不足市

理論値 不足額 968千円 β

まとめ

- 令和8年度以降は、県の示す標準保険税率とする。
- 税率改正による増加率は、5.83%となる。（子ども・子育て支援金分除く）
 （令和7年度：4.8%、令和6年度：7.2%）
- 子ども・子育て支援金分の増加率は、2.48%となる。
- 県の示す標準収納率に満たないため「収納率準不足市」となっている。
- 令和8年度の収納率未達による赤字補填額は、36,085千円 ($\alpha + \beta$)